

野焼きへ



大滝典雄（オオタキノリオ）

野焼きボランティア登場

草原を保全していくためには野焼きは欠かすことができない作業ですが、野焼きには多くの人手が必要です。野焼きの時期になると高齢化等により野焼きを実施することができない牧野組合を支援するボランティアが地元以外からも多く集まってきます。

2月
2008

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 建国記念の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

阿蘇の草原再生事業のご紹介 11 野焼きの再開



環境省では、阿蘇市の田子山や南阿蘇村の夜峰山等の野焼きが行われず数化が進む草原を再生するため、地元関係者、消防団、野焼きボランティアの人々との協働により、野焼きの再開に取り組んでいます。



 草原の一年が始まる



長野良市（ナガノリョウイチ）

春を告げる野焼き、その知恵と技を引き継ぐ

枯れ草を焼き、春の芽だちを助ける野焼きは、草原保全に欠かせない作業です。正確に風を読み、一瞬のうちに正しい判断を下す、熟練の技術が必要な野焼きは阿蘇の人々が草原とともに生活しながら培った知恵と技であり、将来に伝えていくべき財産です。

3月
 2008

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20 春分の日	21	22
23 /30	24 /31	25	26	27	28	29

阿蘇の草原再生事業のご紹介 12 小規模点在樹林地除去（輪地切り省力化）



春に実施される野焼きの準備作業は、半年前から行われます。輪地切り（防火帯づくり）は、野焼きの延焼を防ぐために森林等との境の草を帯状に刈り取る作業で、傾斜地での作業が多いこと、夏の暑い時期に行うことから大変な労力を必要とする作業です。環境省では、草原内に点在する樹林を除去するなど輪地切り作業の省力化を進めています。